

ハンドルを持つと

自然とテンションが上がりまますね



TERUHIKO OOYAMA

FERRARI F430

フェラーリF430
年式:2009年製 排気量:4300cc
走行距離:約6000km

名古屋市千種区
大山 照彦氏
(愛車歴3年)

大山矯正歯科院長。これまでの愛車はベンツ、ボルシェターボなどで、走りだけでなくエンジン音や足回りにも強いこだわりを持っている。

外観から室内まで、
こだわりと個性があふれる

歯科医師として日々患者さん優しく接する大山照彦氏。しかし車に対する想いは、人並み以上に熱いものを持っている。大山氏の愛車はシックなブラックボディのフェラーリF430。赤と黒のコントラストで統一された室内には、大山氏の好みが随所に表れている。「子供のころから車への憧れが強かったですね。カブリリングは外観と室内を対照的にしたからからです。元気がない時でもシートに座るとハンドルを持つと、自然とテンションが上がりますね。」大山氏が最初に買った車はフォルクスワーゲン・ゴルフ。それ以降、ベンツ、ボルシェなどに乗り換えてきた。どの車もカスタマイズをして、

こだわりポイント

室内はオーナーの好みで色や素材をチョイスできる。真っ赤なレザーのデイトナシート、鮮烈なイエローのタコメーターなど、細部にわたって大山氏の好みや個性が反映されている。



大山氏が通勤用として乗っている日産GT-R。エンジンや外観など、大山氏の好みに合わせてカスタマイズしている

ホイールはオプション設定のチャレンジ・ポリッシュホイール。足元にも気を配っている



大山氏自慢のミニチュアカーコレクション。ボルシェだけでも5000台以上あるという。関係者だけしか手に入れないレアなものも多く所有しているのだ

自分の個性を注入してきた。特にボルシェターボには特別な愛着があったそうだが、突然ドライブレングテクニクが必要とされるフェラーリが欲しくなり、このF430を購入した。さらに2011年は日産GT-Rを購入。この車も衝動買いで、「後輩がこの車について話しているうちに、欲しくなってきました(笑)」と笑う。年齢を重ねても、走りを求める心は変わらない。大山氏の想いを満たしてくれる次の車は何であらうか。



赤と黒で統一された室内。レザーのデイトナシートは、ドライブ中に体をしっかりホールド



リアビューを精悍に演出するチャレンジのカーボン製リアグリル